

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)津久野駅前マンション計画[A]	階数	地上14F
建設地	大阪府堺市西区津久野町一丁目72番	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	364人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年5月 予定	評価の実施日	2018年10月2日
敷地面積	2,744㎡	作成者	浅井謙建築研究所 島拓央
建築面積	2,073㎡	確認日	
延床面積	10,988㎡	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 92 138 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.3**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 住宅性能評価により一定水準の環境設計を行いつつ、周辺との調和を考慮することなどで、さらなる環境設計を行います。		<b>その他</b>
<b>Q1 室内環境</b> 遮音、断熱性能を向上させつつ、昼光率の高い室内環境が確保できるよう考慮します。	<b>Q2 サービス性能</b> 条例の基準を満たしたバリアフリー整備、情報設備の充実、容易な維持管理に配慮します。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> まちなみ、景観、地域性と調和したデザイン、空間、材料を配慮します。
<b>LR1 エネルギー</b> 住宅性能評価の省エネルギー項目において、等級4を取得します。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型便器や、有害物質を含まない材料を採用します。	<b>LR3 敷地外環境</b> 附置義務台数以上の駐車台数を確保します。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)津久野駅前マンション計画【A敷地】	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市西区津久野町一丁72番1	1.5	A
	主用途/延床面積	集合住宅 / 10,987.72 m <sup>2</sup>		

2. 重点項目への取組み				
重点項目	評価点	取組み度		
CO <sub>2</sub> 削減	4	● ● ● ● ●		
みどり・ヒートアイランド対策	3	● ● ● ● ●		
エネルギー削減	4	● ● ● ● ●		
建物の断熱性	4	● ● ● ● ●		
安全快適な暮らし	3	● ● ● ● ●		
自然エネルギー利用	○			

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO <sub>2</sub> 削減	評価項目	スコア	評価点	
	地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.8	4
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点	
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	3.0	3
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値	3.0	
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値	3.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	評価点	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	4.4	4
建物の断熱性	評価項目	スコア	評価点	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	4.0	4
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点	
	バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値	4.0	3
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値	3.0	
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値	3.0	
	交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値	4.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	評価点	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0	○

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	